

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																			
東京医療秘書福祉専門学校		昭和61年3月31日		増田 泰朗		〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-16 (電話) 03-3814-6936																																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																			
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		昼間 一彦		〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																																			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																				
商業実務	医療秘書専門課程	診療情報管理士科		平成22年文科省告示第152号	-																																				
学科の目的	「人を活かし、困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、診療情報管理士として医療に従事しようとする者に必要な知識技能を教授し、明日の医療業界を担う「患者様・ご家族のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材」を養成することを目的とする																																								
認定年月日	平成 28年 2月 19日																																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																		
	昼間	157	140	0	17	0	0																																		
2	単位																																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																			
120		120人	0人	72人	11人	83人																																			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価は5点法 評価方法は期末試験という形態ではなく、授業内評価																																				
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月22日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月9日 ■学年末:3月31日			卒業・進級条件	所定の修業年限以上在籍し、所定の単位時間数の単位を取得した者について卒業認定 科目の認定基準は、学年評定2以上、3分の2以上の出席																																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的な面談、就職相談等			課外活動	■課外活動の種類 海外研修 ボランティア等 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																																				
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 大学病院、病院、診療所等の医療機関			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																																				
	■就職指導内容 面接練習、添削指導、企業説明会実施等				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門士</td> <td>①</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>医療事務検定1級</td> <td>③</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>医療事務検定2級</td> <td>③</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>医療秘書技能検定3級</td> <td>③</td> <td>30</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定 ジョブパス3級</td> <td>③</td> <td>31</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>簿記書写技能検定3級</td> <td>③</td> <td>27</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>パソコン技能検定3級</td> <td>③</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>サービス接客検定3級</td> <td>③</td> <td>31</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	専門士	①	31	31	医療事務検定1級	③	31	30	医療事務検定2級	③	31	30	医療秘書技能検定3級	③	30	31	ビジネス能力検定 ジョブパス3級	③	31	28	簿記書写技能検定3級	③	27	30	パソコン技能検定3級	③	27	27	サービス接客検定3級	③
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																						
専門士	①	31	31																																						
医療事務検定1級	③	31	30																																						
医療事務検定2級	③	31	30																																						
医療秘書技能検定3級	③	30	31																																						
ビジネス能力検定 ジョブパス3級	③	31	28																																						
簿記書写技能検定3級	③	27	30																																						
パソコン技能検定3級	③	27	27																																						
サービス接客検定3級	③	31	24																																						
(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日 時点の情報)			※特別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄																																						
中途退学の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 1.6 % 平成28年4月1日時点において、在学者122名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者120名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任面談、役職者面談、保護者面談																																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 三幸学園経済支援制度 ■専門実践教育訓練給付:																																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																																								
当該学科のホームページURL	http://www.sanko.ac.jp/tokyo-med/																																								

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文科省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連機関、関連協会等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や目標検定設定、授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また医療機関実習(病院実習)を通し、医療現場における診療情報管理士として実践的な技術を習得するとともに、業界の動向や求められる人材を把握するため、研究会等との連携を図ることで、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容シラバスやカリキュラムに反映する。また実務能力レベルを計る資格・検定取得に向けても取得率の向上に向けて学習指導方法の見直し、改善に努めることも目的としている。さらに実習先である医療機関に対し、アンケート等を実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことによって得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会構成員は、専門学校と関連機関施設の外部役員から成るものとし、審議を通じて示された施設等の要請その他の情報・意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成を協力して行うものと位置付けている。

【教育課程編成の基本方針決め・前年の問題点抽出】

本校のカリキュラム、取り組み、人材育成像など共有を行わせていただいた上、外部委員より、関連機関における必要な人材についてお話を頂いた。その人材育成に向けての専攻分野に関する動向や新たに必要となる人材スキル等の業界の実情をヒヤリングし、委員会で協議をし、次年度の教育課程編成の基本方針を決める。さらに、前年度の問題点をピックアップし、業界の外部委員からの見識のある改善意見も集約する。

↓

【教育課程編成の科目詳細決め】

委員会構成員の中の東京医療秘書福祉専門学校教員によって、各科目の詳細を決定し、また、集約した改善意見も教育課程に反映させ、次年度の教育課程の仮案を完成させる。

↓

【MS委員会にて教育課程編成の決定】

委員会構成員の中の東京医療秘書福祉専門学校教員による教育課程の仮案に基づいて、再度、MS委員会で協議をし、次年度の教育課程を決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小峰 俊一	青梅市立病院 経営企画課長	平成29年1月1日 ～平成30年12月31日(2年)	③
渡邊 剛一	日本医療事務協会 理事	平成29年1月1日 ～平成30年12月31日(2年)	③
橋本 敦	全国医事研究会 理事/戸田中央医科グループ 事務長	平成29年1月1日 ～平成30年12月31日(2年)	②
千葉 真一	三井記念病院 医事課 シニアマネージャー	平成29年1月1日 ～平成30年12月31日(2年)	③
田中 竜	永寿総合病院 人事課 課長	平成29年1月1日 ～平成30年12月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

委員会は年2回実施する

(開催日時)

第1回 平成28年6月22日 15:00～17:00
第2回 平成29年2月17日 15:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・実習生の態度等について

礼儀・マナーの部分では全く問題ない。実習準備もできている学生が多く、他校と比べても実習評価は高い。しかし、学生による能力・姿勢の差がある
⇒学生間格差を埋める対策が必要。実習前準備、実習巡回の在り方を再考する。

・診療情報管理士の求人について

現状医療機関では、まず医事課を経験させ、その後診療情報管理士として配置したいと考える医療機関も一定数ある。ただ、2年に1度の点数改正等で状況が変わってきている。診療情報管理室や病歴室との関係強化も大切。
⇒医療機関訪問の際に診療情報管理室や病歴室への訪問強化を実施

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校のカリキュラムの一環として医療機関実習を導入しており、実習を通して医療現場の実際を体験し、知識の習得度の確認と実践、現場で実際に患者様、職員の方とのコミュニケーション、対応力を学ばせて頂くことを目的としている。実習期間を設定し、可能な限り長期間で医療現場での経験を積ませて頂くことで、仕事の緊張感、厳しさのみならず、充実感や遣り甲斐を見出すことでその後の学習意欲の向上と積極的な就職活動へ繋げて行くことを狙いとしている。改めて現場実習の狙い、目的を以下の通り記載する。

- ①学校で履修した知識、技術を医療機関において確認するとともに、診療情報管理士としての自分自身を問い直す機会とする。
- ②医療現場における診療情報管理士の職務内容の理解と、介護現場の仕組みや体制を把握し、自らの社会的役割と責任を学ぶ。
- ③職員の方との関わり、患者様とのコミュニケーションを実体験し、社会人としての対応力を高める。

<p>(2)実習・演習等における企業等との連携内容</p> <p>診療情報管理士科2年次前期4週間の病院実習。 予め実習を受諾頂いた医療機関において、患者様・家族とのコミュニケーション、既習技術を実践し、その対応能力の現状把握と向上に努める。期間中は医療機関側に指導者の配置を依頼し、実践業務への教育指導を頂き、指定期間終了後は実習評価として、『基礎・能力(3項目)』、『生活態度(3項目)』、『実習態度(4項目)』の計10項目で評価を頂くこととしている。</p>								
<p>(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院実習</td> <td>実際の医療現場で、受付での患者対応や入院業務、診療情報管理業務などを経験させてもらい、今まで勉強してきたことがどれだけ活かせるかを図る</td> <td>・戸田中央総合病院、三井記念病院、我孫子聖仁会病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、永寿総合病院 *連携施設総数 32</td> </tr> </tbody> </table>			科目名	科目概要	連携企業等	病院実習	実際の医療現場で、受付での患者対応や入院業務、診療情報管理業務などを経験させてもらい、今まで勉強してきたことがどれだけ活かせるかを図る	・戸田中央総合病院、三井記念病院、我孫子聖仁会病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、永寿総合病院 *連携施設総数 32
科目名	科目概要	連携企業等						
病院実習	実際の医療現場で、受付での患者対応や入院業務、診療情報管理業務などを経験させてもらい、今まで勉強してきたことがどれだけ活かせるかを図る	・戸田中央総合病院、三井記念病院、我孫子聖仁会病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、永寿総合病院 *連携施設総数 32						

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校のカリキュラムの一環として医療機関実習を導入しており、実習を通して医療現場の実際を体験し、知識の習得度の確認と実践、現場で実際に利用者の方、職員の方とのコミュニケーション、対応力を学ばせて頂くことを目的としている。実習期間を設定し、可能な限り長期間で医療現場での経験を積ませて頂くことで、仕事の緊張感、厳しさのみならず、充実感や遣り甲斐を見出すことでその後の学習意欲の向上と積極的な就職活動へ繋げて行くことを狙いとしている。改めて現場実習の狙い、目的を以下の通り記載する。
 ① 学校で履修した知識、技術を医療機関において確認するとともに、医療秘書としての自分自身を問い直す機会とする。
 ② 医療現場における医療秘書の職務内容の理解と、医療現場の仕組みや体制を把握し、自らの社会的役割と責任を学ぶ。
 ③ 職員の方との関わり、患者様とのコミュニケーションを実体験し、社会人としての対応力を高める。

(2) 研修等の実績
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 教職員全体研修(平成29年3月30日) 内容: 診療情報管理士科における現状の課題と取り組みについて(ワーク)
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 教員スキルアップ研修(平成28年8月23日、24日) 内容: 相手の理解と指導力について、学生のために教員が何をすべきか(講演)
 教育研修(平成29年3月28日) 内容: 教員の諦めないマインドと生徒の意識改革・リーダーシップの構築(講演)
 アクティブラーニング研修(平成29年3月30日) 内容: アクティブラーニングを効果的に実践していくには(講義・ワーク)
 職業理解のための研修(平成29年8月30日) 内容: 医療業界における診療情報管理士の現状とこれからの課題に関して

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 職業理解のための研修(平成30年8月実施)
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 教職員全体研修(平成30年3月実施)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 学校関係者として、医療分野の業界関係者及び卒業生、保護者、高等学校の教員等と共に、学校関係者評価委員会を設置して、当該専門分野における実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
 学校関係者評価は、「私立専門学校等評価研究機構 専門学校等評価基準」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。また、評価結果は学校のホームページで公表する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。
 (3) 学校関係者評価結果の活用状況
 各項目ごとに話し合われた評価をまとめ、改善点について「短期・中期・長期」の視点より分類し、短期目標についての改善点について検討した上で、検討内容について次回学校関係者評価委員会へ提出することとする。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小峰 俊一	青梅市立総合病院 経営企画課 課長	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(2年)	関連企業
橋本 敦	全国医事研究会 理事/戸田中央医科グループ 事務長	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(2年)	関連企業
千葉 真一	三井記念病院 医事課 シニアマネージャー	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(2年)	関連企業
田中 竜	永寿総合病院 人事課 課長	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(2年)	関連企業
太田 亮一	飛鳥未来高等学校 横浜キャンパス キャンパス長	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(2年)	教育機関
野澤 袖衣香	平成28年度卒業生	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(2年)	卒業生
入江 真弓	在校生保護者	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() () ・ 公表時期: 平成29年7月
 URL: <http://www.sanko.ac.jp/disclosure/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を実施することで、学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげる。また、入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。そして、キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	●三幸学園について(事業案内、経営理念、歴史)
(2) 各学科等の教育	●三幸学園の教育
(3) 教職員	●講師紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	●あきらめない教育 ●実践力を育む教育 ●就職サポート制度
(5) 様々な教育活動・教育環境	●施設紹介 ●社会貢献活動の取り組み
(6) 学生の生活支援	●学生生活を支えるサポートシステム
(7) 学生納付金・修学支援	●募集学科・学費 ●学費サポート制度
(8) 学校の財務	●監事監査報告書 ●資金収支計算書 ●消費支出計算書 ●貸借対照表 ●財産目録
(9) 学校評価	●自己点検自己評価・学校関係者評価委員報告書
(10) 国際連携の状況	●多言語サイト(11月完成予定)
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.sanko.ac.jp/disclosure/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程診療情報管理士科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			看護学 (医療総論)	医療機関に勤める者の基礎知識である、法律(医療法)や職種について学ぶ	1通	30	2	○			○	○			
○			看護学 (解剖・生理)	医学的基礎知識を学ぶ。解剖学でからだの形と構造を生理学でからだの働きを学習する。	1通	75	5	○			○	○			
○			看護学 (薬理学)	各病気ごとの薬物療法に使われる薬を基礎から学ぶ	1後	15	1	○			○	○			
○			看護学 (検査学)	病院で行われる検査について詳しく学ぶ	1後	15	1	○			○	○			
○			看護学 (病理学)	病気の成り立ちを細胞レベルから各臓器にいたるまで学ぶ	1後	30	2	○			○	○			
○			看護学 (医療用語)	病院で必要な医療用語を漢字や略語として学ぶ	1後	15	1	○			○	○			
○			ビジネス マナー	社会人としてのマナーと知識の基礎を学ぶ。サービス接客検定・ビジネス能力検定取得に向けての学習をする。	1通	75	5	○			○	○			
○			診療録管理 学	診療録の必要性・重要性、管理体制を教科書をもとに学習する。	1前	15	1	○			○	○			
○			医事CP・電 子カルテI	医療事務の基礎知識をもとに医事コンピュータを使用しての診療報酬算定技術を学ぶ。	1後	30	2	○			○	○			
○			医科医療事務 I	点数表を読解し、社保・国保・退職者・後期高齢の外来、入院の点数算定を主に行う。	1通	300	20	○			○	○			
○			医療秘書概 論	日本の医療保険制度や健康保険法を中心に医療の現場で必要な知識を学ぶ。	1通	30	2	○			○	○			

○		ペン字	硬筆書写技能検定2,3級を受験することにより、履歴書をはじめ、書類を専門的な技術、知識をもって書けるようにする。	1通	60	4	○			○								
○		電卓検定	電卓検定3級取得を目指す。その中で、基本的な電卓の使い方を学ぶ。	1前	15	1	○			○								
○		パソコン実習 I	パソコン技能検定3級の取得を目指す。Wordでは入力的基础、表作成、ビジネス文書の作成を行い、Excelでは基本的な操作方法（関数を含む）、グラフの作成を習得する。	1通	60	2				○	○							
○		未来デザインプログラム I	フランクリン・コヴィーの「7つの習慣」を元に、成功するための思考行動習慣の法則を体系的に学ぶ。	1通	30	2	△			○	○							
○		疾患学	病院で出会う患者さんの病気について内科的、外科的治療を中心に学ぶ	2通	60	4	○			○								
○		看護学（母性）	女性の体の仕組みを妊娠、出産のメカニズムを学ぶ	2後	30	2	○			○								
○		看護学（医療用語Ⅱ）	医療従事者としてふさわしい医療用語、略語、専門用語を学ぶ	2前	15	1	○			○								
○		秘書実務	医療従事者のマナー・心得・患者様の心理とその対応など、医療機関での患者接遇を学ぶ	2前	15	1	○			○								
○		医事Ⅱ・介護事務	調剤事務、介護事務を学び様々な分野の知識を深める。	2通	60	4	○			○								
○		医事CP電子カルテⅡ	医療事務の基礎知識をもとに医事コンピュータを使用したの診療報酬算定技術を学ぶ。	2前	30	2	○			○								
○		臨床医学総論（外傷学、先天異常等を含む）	医療に関する歴史的変遷を学び、現状を理解する。人体の基本的仕組みを系統的に学ぶ。	2前	15	1	○			○								
○		臨床医学各論（感染症および寄生虫症）	感染症および寄生虫における感染経路・感染症類型などに触れるとともに、細菌感染症・ウイルス感染症・真菌感染症や寄生虫症等それぞれの主要疾患について、特徴・症状・検査・治療を理解する。	2前	15	1	○			○								
○		臨床医学各論（新生物）	新生物の分類（癌と関連）とその特徴及び全身に発症する各新生物について、発症の原因、主症状、検査法などを学習する。	2前	15	1	○			○								
○		臨床医学各論（血液・代謝・内分泌・脳神経・感覚器・精神）	発症頻度の高い疾患名は確実に記憶し、特徴的な症状・検査法・治療法も理解する。稀な疾患も疾患名は覚え、どこの病名か、何科で使う病名かを理解する。	2前	30	2	○			○								

○		臨床医学各論 (呼吸・循環系・消化器系・泌尿器系)	発症頻度の高い疾患名は確実に記憶し、特徴的な症状・検査法・治療法も理解する。稀な疾患も疾患名は覚え、どこの病名か、何科で使う病名かを理解する。	2後	30	2	○			○	○		
○		医療管理総論	医療資源(人、モノ、金、情報)、医療制度、医療供給体制、そして医療関連法規など、将来の医療従事者に必要不可欠な知識を学習する。	2前	15	1	○			○	○		
○		診療情報管理論 I	診療情報管理士の教育・資格制度や、診療情報管理を行う上で備えるべき法規の知識や部門の在り方、個人情報保護法について学ぶ。	2後	15	1	○			○	○		
○		国際統計分類 I	国際疾病分類の意義や利用方法、ICD-10の歴史、また主要病態や原死因の選択ルールを十分に理解する。	2前	15	1	○			○	○		
○		国際統計分類 II	コーディングに必要な知識を習得し、傷病名と医療行為のコーディングを理解する。またサマリーを読み解き、コーディングを必要とする傷病名、医療行為を自分で導き出せるよう理解を深める。	2後	15	1	○			○	○		
○		臨床医学各論 (周産期系)	妊娠の診断法、診察法、検査法、妊娠による母体の変化、胎児の発育、分娩までを理解する。	2後	15	1	○			○	○		
○		臨床医学各論 (筋骨格系・皮膚)	皮膚疾患、骨、筋肉、関節に関わる疾患について、症状、診断法、治療法を理解する。	2後	15	1	○			○	○		
○		医療管理各論 I	病院の組織や経営管理部門の業務内容を理解する。また病院におけるチーム医療についても学ぶ	2前	30	2	○			○	○		
○		医療管理各論 II	診療報酬制度とDPC制度を中心に学ぶ。また診療情報管理士の業務内容である統計についても理解する。	2後	15	1	○			○	○		
○		医療管理各論 III	病院の組織における医療の安全管理、医療の質についても学ぶ	2後	15	1	○			○	○		
○		診療情報管理論 II	診療情報管理の業務内容実務について学ぶ。また診療記録の種類やPOMR等についても学ぶ	2前	15	1	○			○	○		
○		保健医療情報学	情報通信技術(IT)の基礎と、医療情報・診療情報の種類と特性などを学ぶ	2後	15	1	○			○	○		
○		病院管理と社会保険	医療法をはじめ、医療従事者関連の各法律と病院の業務を知り病院経営管理の理論を学ぶ。	2通	30	2	○			○	○		
○		パソコン実習 II	パソコン技能検定準1級の取得を目指す。Wordでは入力の応用、図形(地図・組織図など)、段組み・ルビの作成を学び、Excelでは操作の応用と関数・VLOOKUP・HLOOKUP・AND・OR・データベース関数などを学ぶことで作図・はがき作成、検索・抽出・集計などを習得する	2通	60	2				○	○	○	

○		パワーポイント演習	ツールの違いやデジタルプレゼンの必要性を理解し、画面構成・表示モード・テキスト・図形・グラフ挿入を学ぶことでフリーデザインによるパワーポイント作成を習得する	2通	60	2	△	△	○	○	○			
○		手話	手話の必要性を理解し、基礎的な手話を学ぶことで、手話による自己紹介や簡単な会話を習得する。	2通	30	2	○			○	○			
○		成功の法則Ⅱ	フランクリン・コヴィーの「7つの習慣」を元に、成功するための思考行動習慣の法則を体系的に学ぶ。	2前	15	1	△			○	○		○	
○		病院実習	実際の医療現場で、受付での患者対応や入院業務等を経験させてもらい今まで勉強してきたことがどれだけ活かせるかを図る。	2後	180	6				○	○			○
○		医療情報学Ⅱ	オーダエントリシステムや電子カルテシステムなどの病院情報システム及び地域医療システムを学ぶ。また医療情報の標準化と情報セキュリティの基礎を学ぶ	3前	15	1	○				○		○	
○		医療統計学	統計的方法による分析の基礎を学び、基本的用語を理解する。また視覚化（グラフ）の方法を学ぶ。	3前	45	3	○				○		○	
○		分類法	病名・解剖図を頭に描きながら臓器の部位、位置等を確認しながら、確実なコードが付与出来るように技術の習得を目的とします。	3前	45	3	○				○		○	
○		診療情報管理士受験対策ゼミ（基礎分野）	1・2年生で学んできたことを再確認し、診療情報管理士認定試験に向けて、医学知識を十分につけさせる。	3通	210	14	○				○		○	
○		診療情報管理士受験対策ゼミ（専門分野）	1,2年生で学んできたことの再確認の為に問題集を活用し、診療情報管理士認定試験の専門分野の対策を行う。	3通	150	10	○				○		○	
○		診療情報管理士受験対策ゼミ（分類分野）	病名・解剖図を頭に描きながら臓器の部位、位置等を確認しながら、確実なコードが付与出来るように技術の習得を目的とします。	3前	45	3	○				○		○	
○		医療事務研究特講	難易度の高いMS準1級に向けて算定対策や法規を理解する。また、DPCの概論やDPCの算定について学ぶ	3通	60	4	○				○		○	
○		就職試験対策	就職試験に向け、筆記試験対策、面接対策を行う。	3通	60	4	○				○		○	
○		医療秘書検定特講	医療秘書技能検定準1級合格に向け、検定対策を行う。診療情報管理士認定試験の基礎分野の対策も行う。	3前	60	4	○				○		○	
○		パソコン実習Ⅲ	データベースの考え方、また一つのミスが致命傷となり全体へ影響する事などを学ぶ。ACCESSの操作はもとより、慎重且つ確実なチェックを重視する。	3通	60	4				○	○		○	

○		人間関係論	複雑に絡む人間関係をよりよい関係で関わることを心理学を通して理解する。	3 後	30	2	○		○	○				
○		医療マーケティング論	マーケティングの基礎を学ぶことで、ソーシャルマーケティングの重要性と、ソーシャルマーケティングの知識を身につける。	3 後	15	1	○		○	○				
○		医事CP (DPC)	DPCの算定知識を学びながら、ICDコードとの関連性について理解を深める。	3 後	15	1	○		○	○				
○		プレゼンテーション実践I	社会人になるに当たり必要なコミュニケーション能力を高める。	1 通	60	4	○		○	○				
○		ホームルーム	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。	1 通	45		○		○	○				
○		ホームルーム	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。	2 通	45		○		○	○				
○		ホームルーム	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。	3 通	45		○		○	○				
	○	教育・文化の学習 (A)	社会に出るにあたり、自らに必要な技術知識の習得や文化学習を行う (美容・健康・食・福祉・書など)	1 前	30		○		○	○				
	○	教育・文化の学習 (B)	社会に出るにあたり、自らに必要な技術知識の習得や文化学習を行う (美容・健康・食・福祉・書など)	1 後	30		○		○	○				
合計				62	科目	2730単位時間 (157 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
所定の修業年限以上在籍し、所定の単位時間数の単位を取得した者について卒業認定		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。